

▽平成26年度館林市一般会計補正予算(第2号) 112億1840万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ279億407万6000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成26年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第1号) 113212万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億3502万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成26年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) 112711万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ56億8438万9000円とするもので、全員一致で可決されました。

報告

▽平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 11「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化

を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は5・1%、将来負担比率は77・8%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、4つの全ての健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となっていたとの報告がありました。

平成25年度決算

▽平成25年度館林市歳入歳出決算の認定について 11一般会計決算の概要は、最終予算額325億9740万9000円に対し、歳入決算額は318億1682万1365円で、予算に対する収入率は97・61%です。また、歳出決算額は302億1963万3225円で、その執行率は92・71%、

歳入歳出差引残高は15億9718万8140円となります。このうち翌年度へ繰越すべき財源1億3170万5000円を差し引いた実質収支額は、14億6548万3140円となり、このうちから11億円を財政調整基金に積み立てし、翌年度へ繰越すべき財源を含む4億9718万8140円を翌年度へ繰越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入87億3829万8306円、歳出87億512万7251円。下水道事業特別会計が、歳入18億1585万8637円、歳出16億8568万8692円。農業集落排水事業特別会計が、歳入4794万5819円、歳出4282万1702円。介護保険特別会計が、保険事業勘定において、歳入54億5980万4861円、歳出53億2818万4121円、介護サービス事業勘定において、歳入898万1017円、歳出0円。後期高齢者医療特別会計が、歳入7

億7703万773円、歳出7億2968万9118円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

▽平成25年度館林市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 11平成25年度の未処分利益剰余金の処分については、前年度繰越利益剰余金515万4457円に当年度純利益1億7144万4596円を合わせた当年度未処分利益剰余金1億7659万9053円のうち、5000万円を減債積立金に、1億2000万円を建設改良積立金に積み立て、残額の659万9053円は翌年度繰越利益剰余金として処分しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽平成25年度館林市水道事業会計決算の認定について 11収益的収支では、事業収益17億6883万3764

円、事業費用15億7625万8703円で、この結果、消費税抜きの純利益1億7144万4596円が計上されたほか、資本的収支では、収入総額1億4884万3425円に対し、支出総額7億3642万9242円で、不足する額5億8758万5817円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てんされ、採決の結果、全員一致で認定されました。

議員提出議案

▽館林市議会委員会条例の一部を改正する条例 11平成26年10月1日から市議会議員の定数が22人から20人に改正されることに伴い、総務文教常任委員会の委員定数を1人減じて6人に、経済建設環境常任委員会の委員定数を1人減じて7人とするものです。また、委員会の傍聴の取り扱いについて、原則公開にするため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。